

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1957年2月4日

出生地：カナダ

【プロフィール】 ブリティッシュ・コロンビア大出身。79-80シーズンと80-81シーズンの2シーズン、NHLのウィニペグ・ジェットでプレーし、51試合2ゴール、10アシスト、12ポイントをマーク。CHLや西ドイツのブンデスリーガでプレーした。

【レビュー】 チーム入りする前は、攻撃的なDFという触れ込みでした。1シーズン限りの在席でもあり、正直なところ、名前は憶えていますが、彼がどんなプレーヤーであったかの記憶はほとんどありません。印象が薄かったのかな。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
83-84	第18回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	30	14	18	32	20
計						30	14	18	32	20

第1版：2024年3月31日・記

ビル・ハリワティ

Bill HOLOWATY

所属：西武鉄道

ポジション：FW

生年月日：1959年2月21日

出生地：カナダ

【プロフィール】ブリティッシュ・コロンビア大（UBC）出身。NHLのドラフト指名こそされなかったが、キャンプには2回参加するなど、契約の可能性がなかったわけではない。79-80シーズンにUBCでプレー、1年の時からトップスコアラーの能力を発揮した。特に3年の時はゴール、アシスト、ポイントの3部門でチームトップ。2年連続で西部カナダのオールスターチームに選ばれ、CWUAA優秀選手にも選ばれた。82-83シーズンから2シーズン、西武鉄道でのプレーを経てUBCへ復帰した。UBCの4年間で215ポイントをマークしている。

【レビュー】スピードがあって、体の使い方がうまかったですね。良いシュートも放っていました。その一方で、私生活ではやんちゃで、若手選手としっかり遊んでいました。門限破りをして、キャプテンの俺（榛澤）に「何考えているのだ！」と若手と一緒に叱ったこともあります。助っ人が日本人から怒られたのは初めてかな（笑）!?

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
82-83	第17回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	30	30	24	54	8
83-84	第18回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	27	21	30	51	12
計						57	51	54	105	20

第1版：2024年3月31日・記

ダグ・ブキャナン

Doug BUCHANAN

所属：西武鉄道

ポジション：FW

生年月日：1950年4月22日

出生地：カナダ

【プロフィール】 ブリティッシュ・コロンビア大（UBC）出身。4年生の時にはキャプテンを務める。UBC卒業後はIHLでのプレーを経て74-75シーズンに西武鉄道入り。西武では5シーズンプレーした。74-75シーズンの第9回日本リーグでアシスト部門8位の7アシストをマーク。第11回日本リーグではチームの2連覇に貢献するとともにベスト6に選ばれた。

【レビュー】 攻守とも頼りになり、細かいプレーもできました。ポジショニングも良く、中央にいて、FW陣をコントロールしながら、他の選手を使い、生かすプレーもできました。敵から見たら粘り強く面倒なプレーヤー。粗いプレーやラフなプレーは好きではなく、日本向きだったと思います。

【日本リーグ表彰関係】

ベスト6：第11回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
74-75	第9回	6	2回戦制	西武鉄道	2位	10	2	7	9	1
75-76	第10回	6	3回戦制	西武鉄道	1位	15	5	15	20	5
76-77	第11回	6	3回戦制	西武鉄道	1位	15	14	10	24	4
77-78	第12回	6	3回戦制	西武鉄道	3位	10	3	6	9	0
78-79	第13回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	20	11	13	24	5
計						70	35	51	86	15

第1版：2024年3月31日・記

所属：西武鉄道

ポジション：FW

生年月日：1949年

出生地：カナダ

【プロフィール】 トロント大出身。71-72シーズンにはユニバーシアードで銀メダルを獲得。72-73シーズンでは大学リーグで23ゴール、18アシスト、41ポイントマークし、得点源の一人として活躍した。73-74シーズンのオーストリアでのプレーを経て、74-75シーズンに西武鉄道入りした。第9回日本リーグの9ゴールは得点ランキング6位、14ポイントはポイントランキングで9位だった。

【レビュー】 スケーティングがうまかったですね。三澤悟に「もっとスケーティングのスピードを付けて、タフなプレーをするようにならなくてはダメだ」と毎日、練習後にパワースケーティングを教え、上達させました。本人はあまり器用ではなく、使ってもらうタイプのプレーヤーだったため、助っ人としては、物足りない面もありました。その点から1シーズンのみのプレーになったかもしれませんね。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
74-75	第9回	6	2回戦制	西武鉄道	2位	10	9	5	14	1
計						10	9	5	14	1

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：

出生地：

【プロフィール】 トロント大出身。

【レビュー】 外国人プレイヤーは助っとして招聘するわけなので、一段も二段もレベルが上のイメージを持ちます。しかし、彼の場合、正直なところ、特徴もなく、戦力として目立った記憶があまりありません。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
78-79	第13回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	20	4	4	8	8
計						20	4	4	8	8

第1版：2024年3月31日・記

エドワード（テッド）・マッカニーリ Edward MCANEELEY

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1950年11月7日

出生地：カナダ

【プロフィール】70年のNHLドラフトでカリフォルニア・ゴールデンシールズから4巡目指名（全体で47位）を受ける。72-73シーズンから3シーズンNHLでプレーし158試合8ゴール、35アシスト、43ポイントをマーク。その後、CHL、WIHL、PHL、WHAでプレーをし、79-80シーズンに西武鉄道入りし、4シーズンにわたり日本でプレーした。

【アワード】体はそれほど大きくないが、助っ人としてはしっかりしたプレーヤー。相手がスピードに乗って攻撃を展開しようとしている手前で止めるため、スピードを生かした攻めを防いでいました。攻撃の出だしを抑えるのがうまかった。また、ゴール前では必ず一人は抑えており、GK（三澤実）から見たら、こちら側の選手は彼がつぶすからこちら側は無視して、反対側をケアすれば良いという守りができていました。

【日本リーグアワード】

特別賞：第15回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
79-80	第14回	6	3回戦制	西武鉄道	2位	15	6	10	16	6
80-81	第15回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	10	6	10	16	7
81-82	第16回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	30	2	22	24	7
82-83	第17回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	30	5	16	21	14
計						85	19	58	77	34

第1版：2024年3月31日・記

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：1941年8月16日

出生地：カナダ

【プロフィール】ブリティッシュ・コロンビア大出身。カナダ代表でオマリーともコンビを組んだ。64年のインスブルック、68年のグルノーブルのオリンピックに出場し14試合4アシスト、4ポイントをマーク。世界選手権にも3回（66、67、68年）出場し21試合2ゴール、5アシスト、7ポイントをマークした。68-69シーズンには6試合だがNHLのミネソタ・ノーススターズでプレーし、1アシスト、1ポイントをマーク。西武鉄道入りした1年目の第10回日本リーグではベスト6にも選ばれた。99年にIIHF殿堂入り。

【レビュー】カナダ代表でテリー（・オマリー）と組んで高いレベルでやっていたことが納得できるプレイヤーです。ゴール前の守りは堅く、相手を抑えるのがうまかった。反則にならないように、ガツンとやっていて、そのガツンがすごかったですよ。相手が困るようなチェックをして、ゴール前にポジションを取りに行けなかったのでは？ とにかく「俺のところには来るな」と言わんばかりのプレーで、「ゴール前の殺し屋」でした（笑）。

【日本リーグアワード】

ベスト6：第10回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
75-76	第10回	6	3回戦制	西武鉄道	1位	14	1	7	8	8
76-77	第11回	6	3回戦制	西武鉄道	1位	15	0	2	2	3
77-78	第12回	6	3回戦制	西武鉄道	3位	8	3	2	5	7
計						37	4	11	15	18

所属：西武鉄道

ポジション：DF

生年月日：

出生地：

【プロフィール】九州で神父をしており、日本リーグの外国人選手第1号。

【レビュー】西武鉄道の前身である「品川クラブ」に所属していたプレーヤー。日本リーグになって初めて助っ人選手として海外から招いたプレーヤーではなく日本リーグ誕生とともにそのまま西武入りしました。小柄で細身のプレーヤーでした。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
66-67	第1回	5	2回戦制	西武鉄道	4位	8	1	1	2	4
67-68	第2回	5	2回戦制	西武鉄道	3位	7	0	0	0	2
68-69	第3回	5	2回戦制	西武鉄道	2位	0	0	0	0	0
計						15	1	1	2	6

所属：西武鉄道

ポジション：FW

生年月日：1946年10月20日

出生地：カナダ

【プロフィール】63年のNHLドラフトでモントリオール・カナディアンズから1巡目指名（全体で1位）を受ける。NHLドラフト会議は63年が第1回であり、モナハンは最初に指名を受けた選手。67-68シーズンから78-79シーズンまで、モントリオールを皮切りに、デトロイト・レッドウイングス、ロサンゼルス・キングス、トロント・メープルリーフス、バンクーバー・カナックスでプレー。NHL通算748試合116ゴール、169アシスト、285ポイントをマークしている。79-80シーズンから西武鉄道入り。

【レビュー】個人技は抜群で、西武に来た外国人では一番うまかった。周りを使うタイプではなく、パックをキープしたら、ハンドリングとスケーティングで相手をかわしていく。味方も「何をやっているの？」と見惚れてしまうくらいうまかった。一緒に組んでいた徳田（日出夫）がびっくりして、何をすればいいのか分からないほどだった（笑）。相手が来れば対応するけど、体をガンガン使うタイプではなく、とにかくかわして、かわして、自ら接触プレーはしなかったですね。

【日本リーグアワード】

特別賞：第15回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
79-80	第14回	6	3回戦制	西武鉄道	2位	15	13	17	30	8
80-81	第15回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	18	12	15	27	7
81-82	第16回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	30	17	19	36	11
計						63	42	51	93	26

若林 修

Osamu Harb WAKABAYASHI

所属：西武鉄道

ポジション：FW

生年月日：1944年12月23日

出生地：カナダ

【プロフィール】 両親が日本人の日系二世。ボストン大学時代、2年から4年まで全米ベスト6に選ばれる。1969年に来日し、第4回日本リーグから西武鉄道でプレー。84-85シーズンをもって現役を引退。85-86シーズンから4シーズン、西武の監督を務める（プレーイングマネジャーは77-78シーズンから務める）。その後、01-02シーズンには日光アイスバックスの監督として指揮を揮う。現役時代の71年に日本人へ帰化し、日本代表としてオリンピック3回、世界選手権8回出場。リーグプラシッド五輪では日本選手団の旗手を務める。選手としては日本リーグでは優勝7回（プレーイングマネジャーとしては2回）、リーグ通算206ゴールは歴代11位、164アシストは歴代24位、370ポイントは歴代13位をマーク。第4回日本リーグの対福德2回戦で1試合5アシストの日本リーグ記録（当時）を、第7回日本リーグでの対古河1回戦で1試合6ゴールの日本リーグ記録をマークした。監督として日本リーグ170勝（西武160勝、アイスバックス10勝）は歴代3位。若林仁（元国土）は実兄。

【レビュー】 体を使いながら、タフなプレーをするなど、カナディアン的なプレーをしていました。またテクニックがあるというよりはタイミングの取り方がうまかった。小さい時から体の大きい選手とプレーしてきたからか、相手の体に引っかからず動ける、うまくかわすプレーが身に付いていたのではないのでしょうか。

【日本リーグアワード】

最優秀選手：第10回、第13回、第15回

ベスト6：第4回、第5回、第7回、第10回、第11回、第13回、第15回

得点王：第7回

選手

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
69-70	第4回	5	2回戦制	西武鉄道	2位	8	9	8	17	1
70-71	第5回	5	3回戦制	西武鉄道	1位	12	18	9	27	1
71-72	第6回	5	2回戦制	西武鉄道	1位	5	10	4	14	2
72-73	第7回	5	3回戦制	西武鉄道	1位	12	17	9	26	4
73-74	第8回	5	3回戦制	西武鉄道	3位	10	10	9	19	4
74-75	第9回	6	2回戦制	西武鉄道	2位	10	2	13	15	2
75-76	第10回	6	3回戦制	西武鉄道	1位	15	22	6	28	3
76-77	第11回	6	3回戦制	西武鉄道	1位	15	16	8	24	3
77-78	第12回	6	3回戦制	西武鉄道	3位	15	5	5	10	0
78-79	第13回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	20	12	11	23	1
79-80	第14回	6	3回戦制	西武鉄道	2位	15	10	10	20	0
80-81	第15回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	20	12	11	23	1

81-82	第16回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	29	18	17	35	2
82-83	第17回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	29	20	13	33	1
83-84	第18回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	28	14	16	30	3
84-85	第19回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	26	11	15	26	2
計						269	206	164	370	30

監督

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	W	T	L	P	
77-78	第12回	6	3回戦制	西武鉄道	3位	15	9	1	5	19	
78-79	第13回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	20	14	3	3	31	
79-80	第14回	6	3回戦制	西武鉄道	2位	15	9	4	2	22	
80-81	第15回	6	4回戦制	西武鉄道	1位	20	16	2	2	34	
81-82	第16回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	30	18	3	9	39	
82-83	第17回	6	6回戦制	西武鉄道	2位	30	16	5	9	37	
83-84	第18回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	30	16	3	11	35	
84-85	第19回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	30	12	6	12	30	
85-86	第20回	6	6回戦制	西武鉄道	4位	30	12	6	12	30	
86-87	第21回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	30	13	5	12	31	
87-88	第22回	6	6回戦制	西武鉄道	4位	30	12	3	15	27	
88-89	第23回	6	6回戦制	西武鉄道	3位	30	13	8	9	34	
計						310	160	49	101	-	
01-02	第36回	6	8回戦制	日光IB	R6位	40	10	-	30	23	
R:レギュラーリーグ						計	40	10	-	30	-
合計						350	170	49	131	-	

第1版：2024年3月31日・記

トーマス・J・ハウ

Thomas J HAUGH

所属：西武鉄道

ポジション：GK

生年月日：1943年1月17日

出生地：アメリカ

【プロフィール】 ブロビデンスカレッジ出身。アメリカ代表として65年と67年の世界選手権に出場し、8試合2勝5敗、防御率6.31をマーク。68-69シーズンに西武鉄道入りする前の3シーズンは、スウェーデンリーグでもプレーした。

【レビュー】 体が大きいプレーヤーでしたが、動きやスケーティングが速かった。シーズン当初はコンディションづくりも兼ねてDFをやり、普通にDFのプレーをしていたほど。DFができるほどバックスケーティングも速いため、西武が攻めているときは高めにポジションングして、相手が攻めてきたらバックスケーティングで戻るわけですが、そのスピードが速く、ポジションングも良かった。さらにチームの練習試合に限らず、シュート練習でも点を入れさせてくれませんでした。またスティックのブレードの先で、シュートを難なくはじくなど、とにかくうまかった。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	W	T	L	失点	完封	A	反
68-69	第3回	5	2回戦制	西武鉄道	2位	8	4	2	2	20	0	0	0
計						8	4	2	2	20	0	0	0

第1版：2024年3月31日・記